

## いきいきとした社会を目指して

東邦ガス(H16, 修士H18) 浅井 良太



生まれ育った中部地区が、さらに元気にいきいきとした社会になるために、少しでも自分が寄与できればと思い、都市ガス会社を志望し入社いたしました。(少し偉そうで恐縮です。)

現在の職場では、都市ガスを輸送するための幹線を敷設する業務を行っています。輸送幹線は、都市ガスを送る上で、まさに大動脈であり、最も重要な資産となるわけですから、大きなやりがいをもって取り組むことができます。幹線を建設する仕事ですから、ゼネコンさんとは少し立場が異なりますが、私も土木工事に従事する人間の一人です。都市ガス会社としての工事業務は、安全管理、品質管理、工程管理の他に、建設に関わる工事の申請および許可取得や、地元への工事説明など多岐にわたります。

私が印象に残っている仕事は、お客さまに都市ガスをお届けする約束の期限が迫っている状況での工事で、地元のかたのご理解を得ることに大変苦労しながら、行政の理解・協力のもと、何とか約束の期限までに工事を終えることができましたことです。入社後いきなり特急工事の業務につき、始めは一つトラブルが起こるたびに、パニックになっていました。そんな時は、職場の先輩の方々・上司が十分支えてくださいました、大変ありがたいことでした。入社後経験のない私をもう一つ支えてくれたのが、地盤力学研究室で卒業論文、修士論文に取り組んだ経験でした。研究室時代、先生や先輩に指導してもらいながら、一生懸命取り組んだ経験は自分の支えとなってくれていると実感しました。

さらにもうひとつ印象に残っている仕事は、都市ガスを送り出す根元のガス管を改造する工事です。この仕事も、都市ガス送出量を大幅に増大させるために、不可欠な工事であり、大変やりがいがありました。ただし、都市ガスは絶えず送りださなければいけないため、工事には大きな工程の制約があり、なおかつ万一のトラブルが起きれば計り知れない被害が発生してしまうため、事前の調整には大いに苦労しました。社内の多くの課所に、説明や調整を要しましたが、この仕事のおかげで多くの方と仕事をすることができて大変貴重な経験となりました。

最後に、京大土木出身の皆さまに各分野で活躍していただき、いきいきとした社会の実現を祈念しております。



写真 現在工事中の幹線工事区間に使用するシールドマシン